

工業部会通信

(発行) かながわ経済新聞合同会社
〒252-0239 相模原市中央区中央3-12-3
商工会館本館1階
※プリントしてご自由にお読みください。

かながわ経済新聞
KANAKAI

青工研 稲場体制が本格稼働 第37回通常総会を開催



総会であいさつする稲場会長

相模原市青年工業経営研究会は4月14日、市立産業会館で「第37回通常総会・通常総会懇親会」を開催した。横江利夫前会長（旭フオークリフト社長）からバトンタッチした稲場純会長（リガルジョイント社長）は、2017年度の統一テーマとして「心技体を磨け！」を掲げた。

日本の工業を取り巻く環境が楽観視できないなかで、会員が自社を成長させていくためには「自身の成長しかない」とし、「心技体を磨け！」を統一テーマにしたという。稲場会長は総会で「心技体を磨け！」を掲げた。稲場会長は総会で「心技体を磨け！」を掲げた。稲場会長は総会で「心技体を磨け！」を掲げた。



決算書のほか、17年度の事業計画書・収支予算書などについて審議。すべり組もう」と語った。17年度の役員は以下の通り。【監事】大峰英一（タイホー社長） 鈴木道雄（永進テクノ社長）【副会長】酒巻利光（テクノフロンテ社長） 中村勝彦（中村電機社長）【特別理事】新海肇（新海製作所社長）【理事】田中裕

1台3役の装置を開発

ブルースターR&D

建設業、交通運輸業部会と連携

「自動運転」テーマに連携

新たな市場探るセミナー

工業部会は5月29日の午後4時半～同6時まで、市立産業会館で「自動運転技術は企業、社会をどう変える？」と題したセミナーを開催する。建設業部会、交通運輸業部会との連携事業の一環。

近年のAI（人工知能）やセンサー技術の進歩に伴い、自動車の「自動運転技術」は大きな進化を遂げている。政府も完全自動運転の段階である「レベル4」までの技術開発を目指し、特区等において公道実証実験を行うための環境整備や国際的な基準作りを積極的に取り組むことを表明している。

また、今後さらなる自動運転車の普及が進むと、自動車産業や関連する製造業、運輸サービスなどの既存産業はどうなるのかも注目される。同セミナーでは未来の企業と社会を大きく変える自動運転技術の可能性と、新たな市場について解説する。講師には、浜

産業精神保健機構 情報交換会開く

銀総合研究所の主任研究員で自動車産業担当（完成車・部品・流通）を務める深尾三四郎氏を招く。参加無料（懇親会は2000円）。定員50人。申し込み、問い合わせは産業振興課042（753）8136まで。



同機構の松岡代表理事

工業部会の松岡康彦副会長が代表理事を務める、一般社団法人「産業精神保健機構」が発足。4月17日には同市立産業会館で、基調講演会と情報交換会が開かれた。基調講演会では、機構

の特別理事を務める北里大学の田中克俊教授（産業精神保健学）が、精神的な不調の実態や対処方法について解説した。なお、同機構は大手企業と比べ立ち遅れているとされる中小企業のメンタルヘルズ対策を支援しようとして、昨年発足した産・学・士業による連携組織。現在、会員企業間の人材交流を検討している。職場になじめず、精神にストレスを溜める可能性がある社員が出た場合、他の会員企業に「外向」。他本人にとって出向先が最適であれば、そのまま転籍できる仕組みの構築を目指している。

ブルースターR&D（中央区横山台）は、ミニチュアアベアリング部品などの小型精密部品向けに、1台でバリ取り・研磨・洗浄ができる装置を開発した。水の中に強力な超音波を照射すると発生する微細な泡「キャビティ」を利用。「1台3役」の性能を実現した。導入により作業時間の大幅な短縮化につながるという。

装置は3槽構造。「六角回転がこ」が付いており、ここに精密部品を投入。装置内でゆっくり回転する。

超音波の出力は1槽、2槽とも2400ワット。水のみで研磨剤などは一切使用しない。標準価格は約2850万円。年間10台程度の販売を見込んでいる。

同社の柴野佳英会長は、「（新装置の導入により）大変重労働で手間のかかる作業から解放されます。人手不足の中で競争力確保にもつながるはず」と話している。

相模原市にたましん2店舗

安心して更なる事業発展に向けたサポートをしています！

橋本支店

橋本支店
オープン
しました！

住所 神奈川県相模原市
中央区相模原
5-10-10
相模原支店内

電話 042-730-1525



橋本支店



お気軽に
たましんに
ご相談
ください！

相模原
支店

住所 相模原市中央区相模原
5-10-10

電話 042-756-7111

相模原支店

